

緩和ケア病棟のボランティア活動について

緩和ケア病棟では、ガンによる痛みや苦痛を和らげることができるように環境づくりも心がけられます。そのためには、医師や看護師を中心とした病院スタッフだけでなく、ボランティアもチームの一員としてケアを行います。

Q1 緩和ケア病棟のボランティアの役割は？

① いることで、患者さんに安心や安らぎを感じてもらえる

② 医療者と共にケアの質の向上を支える

③ 社会との橋渡しになるなどです。

病院という日常生活からかけ

離れた環境の中に、「普通の人」としてボランティアの姿があることが、患者さんの緊張感をやわらげ、安心感につながります。また、1日の生活の中にちょっとした潤いを生み出したり、街の様子や季節の移ろいをつたえることなど、ボランティアの存在が大きな力になります。

Q2 ボランティアは、どんな活動をするの？

緩和ケア病棟のボランティアは、病院によっての特徴はあるかもしれませんが、一般的には次のような活動をしています。

・患者さんの身の回りのお世話
簡単なそうじ・おつかい・散歩・縫い物

・お茶やお菓子の準備

・特技を活かした援助（アロママッサージ・音楽コンサートなど）

・病院の庭や植物の手入れ

・季節や病棟の行事の企画や準備（クリスマス会・お誕生会など）

もちろん、これらのことがすべてできる必要はありません。時には姿を見せるだけで患者さんや病院スタッフを元気づけることにもなります。

Q3 緩和ケア病棟のボランティア活動をするにはどうしたらいいの？

神戸医療生協が行う緩和ケア病棟ボランティア養成講座を受講していただきます。

講座の内容は、「緩和ケアとは」「緩和ケア病棟の特徴、療養生活の実際」「コミュニケーションについて」などの講習と、現場での実習などを考えています。日程が決まり次第別途お知らせします。

ボランティア活動は緩和ケアにとって欠かせないものです。神戸医療生協らしいボランティア活動をめざしたいと思えます。

組合員の
みなさん

医師・看護師・薬剤師・

リハスタッフをご紹介ください。

お待ちしています！



地域に育ち、地域に根付き、地域に生かす医療をめざしています。

資料請求・お問い合わせは

神戸医療生協 Tel. 0120-992-986 <http://www.kobe-iseikyo.or.jp/>